

記者懇談会の記録

日 時	令和 8 年 7 月 2 日（木）15：30～16：04
場 所	岩見沢市役所 3 階 庁議室
記者数	5 人

1 2026 いわみざわ彩花まつりの開催について

（市長）

本日の案件は 2 件とも夏のイベントになりますが、最初に、本日から始まっております「2026 いわみざわ彩花まつり」についてです。

本日から、あやめ公園、いわみざわ公園、駅東市民広場などを会場として開催されます。

あやめ公園では、168 種 12,000 株のあやめや花菖蒲（はなしょうぶ）を、いわみざわ公園バラ園においては、630 種 8,800 株のバラを鑑賞していただけます。

現在のところ、あやめのピークはやや過ぎていますが、バラは見頃を迎えており、花菖蒲と併せて、ちょうど彩花まつりの期間にご来場の皆様にお楽しみいただけるかと思えます。

主な内容についてですが、本日から始まって 5 日まで JR 岩見沢駅前でメタセコイアのライトアップを行うほか、あやめ公園では、毎年恒例となっております、あやめ株とあやめ団子の販売を 5 日（日曜日）までの期間限定で行います。

また、いわみざわ公園では、4 日（土曜日）に色彩館において、箏曲演奏と野点（のだて）が開催されるほか、4 日と 5 日には旧緑のセンターにおいて、盆栽展が開催されます。

駅東市民広場公園では、お祭り広場と観光踊りが開催されます。

4 日（土曜日）には、地元農作物の販売やキッチンカーの出店、いわみざわねぶたの展示のほか、ダンス等のステージイベントが実施されます。また、会場内に櫓を設置いたしまして、観光踊りが行なわれます。個人での自由参加となっておりますので、多くの方の参加をお待ちしております。

また、25 日（土曜日）には北海道グリーンランド遊園地との共催事業として、午後 8 時より遊園地を会場に、5,500 発を打ち上げる花火大会が開催されます。当日の 16 時以降は高校生以上 1,000 円、3 歳から中学生まで 500 円の特別料金での入園となります。

期間中、多くの方々にご来場いただき、岩見沢の初夏のお祭りを楽しんでいただきたいと願っております。

<質疑応答>

(NHK)

駅前や市役所周辺など、花がすごく綺麗なまちだなという印象があるのですが、岩見沢と花のイベントの経緯などがありましたらお聞かせください。

(市長)

元々、イベントとして、あやめ公園でのあやめまつりをこの時期に開催していたんです。いわみざわ公園のバラ園を整備したのが昭和 60 年くらいですが、平成に入ってからかなり手を入れて今の状況になっております。あやめとバラでそれぞれやっていたのですが、あやめというのは開花調整が難しく日の光で開花するので、上にネットをかけたりして（開花時期を調整して）いました。

あやめとバラで、彩（いろどり）の花のおまつりということで一体化した催しにしたんです。

あやめ団子やあやめ株の販売は、以前からあやめ公園でやっておりました。箏曲演奏と野点もかつてはあやめ公園でやっていたんですが、現在は、雨に影響のない色彩館でやっております。

(NHK)

あやめ公園もバラ園もまちなかも楽しんでいただくということですね。

(市長)

まちなかも、駅前通り沿いのポイントにバラを植栽しておりますので楽しんでいただけたと思います。

(NHK)

見事ですよね。

2 北海道そらちグルメフォンド 2026 の開催について

(市長)

「北海道そらちグルメフォンド 2026」についてです。

空知の雄大なロケーションと美味しいグルメを楽しむ、北海道最大級のサイクルイベントであります本イベントは、今年、第 13 回目の開催となります。

開催日は、8月23日(日曜日)、ロングとミドル、ショートの3種類のコースのほか、随所に未舗装路を走るコースも取り入れたグラベルの4コースを設定しております。

スタート・ゴールは、いわみざわ公園野外音楽堂「キタオン」として、今年は、南空知の南回りで、岩見沢市、栗山町、夕張市、由仁町、長沼町、南幌町を巡っていただきます。適度なアップダウンのあるコース設計になっており、ビギナーからエキスパートの方まで楽しんでいただけるイベントになっております。

募集定員は、昨年同様、全コース合わせて1,000名として、6月6日から既にエントリーの受け付けが始まっており、7月13日までの先着順となっておりますので、多くの方のご参加をいただきたいと願っております。

また、コース上のエイド(補給所)やゴール後に提供するグルメについては、各市町の特産品などをご用意する予定ですので、こちらも楽しんでいただけたと思います。

さらに、ゴール後のステージイベントでは、俳優・声優としてテレビや映画などで活躍されている大会ゲストの猪野 学(いの まなぶ)さんのトークショーや各市町の特産品がその場で当たる抽選会などを予定しております。

<質疑応答>

(空知新聞社)

今回のエイドで特徴的なものはありますか。

(市長)

今回のエイドは、自治体エイドが6カ所、それからセコマ(協賛企業:㈱セイコーマート)エイドが5カ所となっております。自治体エイドでは、栗山町がカットメロン、夕張市は夕張メロンと冷やしカレーそば、月形町は米粉の焼き菓子、由仁町は由栗(ゆっくり)いものコロケ、長沼町は源泉豆腐の冷やしきつねそば、かりんとう饅頭、南幌町は大福もち、それからゴール後のエイドでは、岩見沢市が落花生ごはん、美唄はハスカップソーダ、三笠は石炭ざんぎという内容になっています。

また、セコマエイドの方では、飲料水やセコマアイスのほか、糖分と塩分を摂取できるようなお菓子類も用意して、参加者の方をサポートする予定となっています。

(空知新聞社)

岩見沢では、前回は北村温泉のラーメンを出していましたが、今回コースに入ってい

ないからということもあって出していないのですか。

(市長)

キタオンがスタート・ゴールになるので、岩見沢は必ず入るんですけど、今回は少し趣向を変えて、北村の落花生ごはんとなります。

(空知新聞社)

もう1点よろしいでしょうか。

今回のコース、ロングなんですけれども、グラベルも入るのかもしれないですけど、丁未（ていみ）峠の手前のところで U ターンしなければならないというところで、自転車に乗った経験のある市長からすると、物足りなさがありますか。

(市長)

そんなことはないです。安全にコースを回っていただくという趣旨と、今年は、ロングの人数を100名減らして300名の定員にし、ショートの人数を100名から逆に200名に増やしているのですが、誰でも無理なく参加できるショートコースを増やしたということと、新規参加者と言いますか、年齢にかかわらず、例えばお年を召した方でも、ショートコース、ショートとは言っても69Kmですので、そこそこの距離ではありますが、気軽に幅広い層がご参加できるような定員の割り振りとコース設定としました。

すごく評判が良く、当初から“キングオブグルメフォンド”と、関係者の中で言われているとお聞きしています。今年も楽しく過ごしていただければなというふうに思っております。

(空知新聞社)

受け付けが始まっていて、先着順ということなんですけれども、6月末ないしは昨日の7月1日の時点でどのぐらいの申し込みが来ているのか分かりますか。

(経済部長)

6月30日現在で、81.2%です。去年の同時期では84.1%なので、比べると2.9ポイントほど低い状態ではありますが、8割を超えている状況です。

(空知新聞社)

ロング、ミドル、ショートの区分ではどのくらいの申し込みがありますか。

(経済部長)

ロングは、先ほど市長から申し上げたとおり、定員を 100 名減らしているのですが、290 名の申し込みがあり、96.7%です。ミドルとグラベルを足したものが 377 名、定員 500 名ですので 75.4%です。ショートが 200 名の定員に対して 145 名で 72.5%となっています。

3 その他記者から質問

<質疑応答>

(北海道新聞)

日ハムの 2 軍誘致先についてなんですが、今日午前中に発表があつて恵庭で決定しましたが、岩見沢は恵庭にも近いのですが、江別市が隣接するまちとして一緒にやってみましょうということで、市役所にも署名コーナーとかもあったと思うんですけども、この結果を受けて、一言いただければと思います。

(市長)

千葉県鎌ヶ谷市の 2 軍関連施設が恵庭に来るということで、同じ北海道として大変喜んでますし、岩見沢市としてもお手伝いできることがあればお手伝いしたいと思っていますし、岩見沢の日ハムファンの方も大変喜んでいてと思います。

北海道に来ますので、連携してやっていきたいなと思っておりますし、応援しております。

(北海道建設新聞)

関連しまして、ファイターズの 2 軍誘致先が恵庭市に内定したことで、岩見沢市への影響、プラス面・マイナス面ありましたら伺いたいのですが。

(市長)

まだ具体的な中身が分からないのですが、恵庭市長さんも今日の会見で、「市民の皆さんを巻き込んでスポーツを通したまちづくりをしっかりとやっていきたい」と、おっしゃっていました。まさにそのとおりでしょうし、岩見沢市からも非常に距離も近いですから、車でアクセスあるいはJRからのアクセスもいいですし、そういった意味では、本当に先ほど申し上げたとおり、岩見沢市にも熱烈な日ハムファンがいらっしゃいますので大変喜んでいると思います。

(北海道建設新聞)

岩見沢市に非常に近い位置ということで、建設業者にとっても、その大型プロジェクトに加わるチャンスもあるのではないかという気がするんですけども、反対に、道央圏で大型プロジェクトが続くということで、南空知の建設業の人手不足などの懸念はないでしょうか。

(市長)

懸念するには時期が早すぎるのではないかと考えています。デベロッパー含め、球団としての構想を事業の実施に向けてこれから色々詰めていく段階なのではないかと思っています。

(北海道建設新聞)

そういったスポーツ施設が拠点を置くことで、経済効果も非常に大きいと思うのですが、今後岩見沢市として、大きなスポーツ施設や集客施設の誘致に挑戦されるというようなお考えはありますか。

(市長)

かつて、スポーツ施設はほとんどが公設だったんです。プロスポーツもプロ野球のボールパーク、球場自体も、公設型がほとんどだったかと思いますが、それがだんだん民設民営になってきて、球団のビジネスとして、球場の設置をし、次は地域の活性化を含めた構想の中での事業というビジネスプランになってるんだなという感じもいたします。それだけの集客力がありますし。岩見沢市の場合は、公設でそういったプロがビジネスとして展開できるような施設ということについては、今はまだありません。

バスケットも、施設のグレードを高くしなければならない。必ず貴賓室を設けなさいとか、収容人数は何名以上ですよとか、それが出来なかったらリーグには参入できないんですよね。

(空知新聞社)

企画室が事務局になっている室蘭線活性化連絡協議会で 2 つのイベントを展開中ですが、黄色線区の利用促進というところでいろいろ展開しているところかと思いますが、その 2 つのイベントに対しての市長の期待と、この後また何か秋以降に企画していること、イメージキャラクターの「蘭（あららぎ）らん」を使った何か仕掛けなど考えているかどうか教えてください。

(市長)

誘客促進を協議会のアクションプランの一環として取り組んでおり、一定の成果も出てきておりますし、そういったことをしっかり継続してやっていくということがまず大事だなと思っております。

また、JR 北海道の経営に直結する昨今の事情については、協議が止まっていますので、今はコメントのしようがないのですが、室蘭線はご案内のとおり、通学をメインとして、そこに通院のご利用が非常に多い路線で、あとは、室蘭線の大きな機能として、重要な貨物路線を担っているということもあります。

そういった点では、北海道の道内の物流としてのウェイトは非常に高い路線だなと思っております。今後のスケジュールなどは未定なのですが、適切に対応し、協議していきたいなと思っております。ポイントは持続可能性だと、私自身は思っております。

(注) この記録は、重複した言葉遣いや明らかな言い直しがあつたものなどを整理した上で作成しています。(作成：総務部秘書課広報室)